



2025年版・環境経営レポート

(対象期間 2024年10月 ~ 2025年9月)

2026年2月16日 発行

株式会社富士インダストリーズ

環境経営方針

《基本理念》

当社の事業活動が地域及び次世代の環境に及ぼす影響を常に考え、住み良い地域環境と地球環境の実現のため、経営のあらゆる面で環境に配慮して行動する。

《基本方針》

株式会社富士インダストリーズは、地域性及び環境への関連を考慮し、以下の環境方針を定め、全ての事業活動を通じて、その実現に取り組みます。

1、事業を通じた地球環境保護

全ての事業活動において、地球環境保護に寄与できるよう努めます。
当社の仕入販売において、安全に配慮した上で環境負荷の少ない手段で製品・サービスを提供する。

2、資源・エネルギーの効率的利用

資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を認識し、省資源、省エネルギー、リサイクル、そしてグリーン購入に努めます。

3、環境関連法規の遵守

環境関連の諸法規及び当社が同意した各種協定を遵守します。

4、継続的環境改善の実施

環境保全に関する目的・目標を設定し、取組結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組みます。

- ① 省資源、省エネルギーの推進 [CO2排出抑制]
- ② 廃棄物の削減
- ③ 水・電気・ガス使用量の削減

5、環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進

環境活動レポートを公表する等、社内外に対して環境保護に関する情報の提供を行いまた、啓発、教育活動を推進するとともに、地域社会の一員として地域・社会貢献活動の推進に努めます。

6、環境保護事業への参入

当社の基本理念に沿った環境保護に積極的な企業への出資・販売協力を推進します。

令和8年2月4日
株式会社富士インダストリーズ
常務取締役 橋本 誉生

【2】事業概要

- ①会社名 : 株式会社富士インダストリーズ
 ②代表者名 : 環境経営責任者 常務取締役 橋本 誉生
 ③ECO21対象範囲 : 神戸本社 : 神戸市中央区明石町32 明海ビル9階
 東京支店 : 東京都港区新橋2丁目5-5 新橋2丁目MTビル
 中部支店 : 名古屋市中区栄1-2-7名古屋東宝ビル3階
 宇都宮支店 : 栃木県宇都宮市不動前2丁目2-33 スズキビルⅢ2-C
 大阪営業所 : 大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第1ビル 6階
 各務原営業所 : 各務原市蘇原三柿野町299-33 多賀ビル2階
 ④本社 : 神戸本社
 ⑤設立 : 1949年6月
 ⑥資本金 : 9,900万円 (全社)
 ⑦売上額 : 37,373百万円 (2025年9月期) (全社)
 ⑧従業員数 : 114名 (神戸本社57名、東京支店26名、宇都宮支店2名、中部支店29名)
 ⑨地域指定 : 商業地域
 ⑩敷地面積 : 神戸本社1,894.82㎡、東京支店794.24㎡、中部支店2,410.82㎡
 大阪営業所8,440㎡、宇都宮支店600.33㎡
 ⑪建物面積 : 賃貸床面積 神戸本社848㎡、東京支店532㎡、中部支店462㎡
 大阪営業所108㎡、宇都宮支店59.62㎡
 ○環境管理責任者 : 宮田 英正
 ○連絡先 : TEL 078-331-2521 、 FAX 078-332-1485
 ○メールアドレス : h.miyata@ficipn.co.jp

2. 沿革

- 1946年5月 : 創業者 仲野至道の個人経営による機械工具類の製造販売により創業
 1949年6月 : 株式会社組織に改めるとともに、輸出入業に移行
 1956年5月 : 東京支店を開設
 1959年5月 : ニューヨークに子会社として米国法人FUJI INDUSTRIES CORP.を設立
 1977年3月 : ロンドン駐在員事務所を開設(後に英国法人化)
 1986年1月 : 株式会社富士インダストリーズと称号を変更
 1995年1月 : 阪神淡路大震災で本社ビルが全壊するも、1ヵ月半後に通常業務に戻る
 2005年2月 : 名古屋支店(1958年7月開設)と岐阜支店(1967年11月開設)を統合し中部支店を開設
 2011年5月 : バンコックに関連会社としてタイ法人SIAM FUJI INDUSTRIES CO., LTD.を設立
 2015年7月 : ロンドンに子会社として英国法人FUJI INDUSTRIES UK LTD. を設立

3. 事業概要(対象活動範囲)

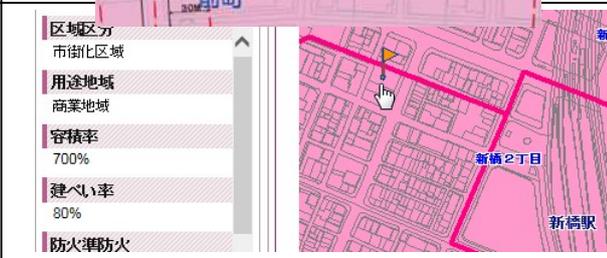
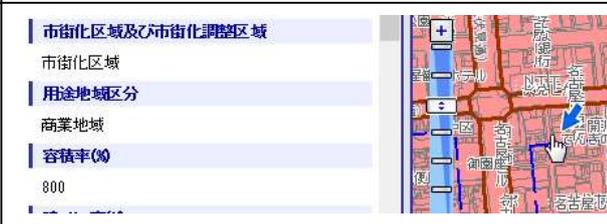
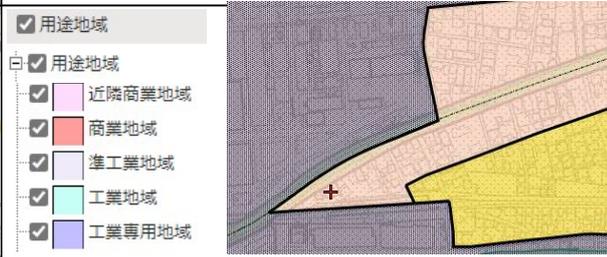
- ◇航空機用部品、材料等の輸入
 ◇ワインの輸入販売

4. 事業形態

- (1)事業年度 : 10月 ~ 翌年9月
 (2)年間稼働日数 : 242日
 (3)就業形態 : 1シフト
 (4)就業時間 : 9:00~17:30(神戸本社)、9:15~17:45(東京支店、中部支店)
 (7.5時間労働)

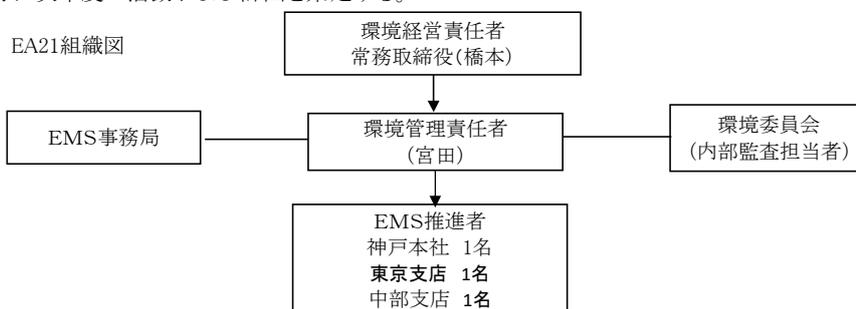
【3】敷地概要

◇都市計画法での用途地域指定：商業地域

神戸本社 商業地域		
東京支店 商業地域		
中部支店 商業地域		
宇都宮支店 準工業地域		
大阪営業所 商業地域		
各務原営業所 商業地域		

【4】エコアクション21実施体制の構築

(1) 支店長は環境経営システムを運用・実施・維持する体制を構築する。
毎年12月に次年度の活動および計画を策定する。



2025年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

X : 目標の達成度
 ○ : 100% ≤ X
 △ : 70% ≤ X < 100%
 × : X < 70%

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年度実績を基準(BM)とした達成基準(どこまで)				目標 実績	日 程 (いつまでに)																
				基準(BM) 2022年度実績	目 標		目的 2026年度 9月期		第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			年間	評 価
					2024年度 9月期	2025年度 9月期			10月	11月	12月		1月	2月	3月		4月	5月	6月		7月	8月	9月		
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・排出ごみの分別を徹底する。 ・靴を活用してレジ袋を削減。	23845L	目標維持 (23845L)	目標維持 (23845L)	目標維持 (23845L)	目標	6,498 L	11%	×	5,782 L	73%	△	5,782 L	75%	△	5,782 L	69%	×	23,845 L	×			
								実績	12,285 L	エネルギー 管理表 参照		7,335 L	エネルギー 管理表 参照		7,200 L	エネルギー 管理表 参照		7,560 L	エネルギー 管理表 参照		34,380 L		56%		
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・両面コピー・縮小コピー使用の徹底 ・Web会議、プロジェクター利用の促進 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告などの電子化)	800kg/年	目標維持 (800kg)	目標維持 (800kg)	目標維持 (800kg)	目標	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用	○	200Kg 使用済み封筒の 再利用	△	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用	○	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用	○	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用	○	800Kg	○					
								実績	200Kg 100%		240Kg 80%		140Kg 130%		160Kg 120%		740Kg 108%								
	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は 設定せず。	管理外の為目標は 設定せず。	管理外の為目標は 設定せず。	目標	節水表示の徹底	○	節水表示の徹底	○	節水表示の徹底	○	節水表示の徹底	○	節水表示の徹底	○		○					
実績																									
省エネ	電気使用量の削減 CO ₂ 排出量の削減	事務所電気の使用	1) 室内不在時、昼休み時の消灯励行 2) 使用しないパソコン等の電源OFF徹底 3) 省エネパソコンへの代替を引続き進める。 4) 照明の一部で間引きを継続する。	68815kwh/年	目標維持 (68815kg)	目標維持 (68815kg)	目標維持 (68815kg)	目標	17,204 kwh	108%	○	17,204 kwh	109%	○	17,204 kwh	103%	○	17,204 kwh	93%	△	68,815 kwh	○			
								実績	15,891 kwh	エネルギー 管理表 参照		15,688 kwh	エネルギー 管理表 参照		16,672 kwh	エネルギー 管理表 参照		18,486 kwh	エネルギー 管理表 参照		66,737 kwh		103%		
	ガス使用量の削減 CO ₂ 排出量の削減	事務所冷暖房の使用	1) 冷暖房の適正温度厳守 (冷房: 28℃、暖房: 22℃) 期間 冷房6月~9月 暖房12月~3月 2) カジュアルフライデーの通年化 3) 社用車の適正な利用を促進	9198m ³ /年	目標維持 (9198m ³)	目標維持 (9198m ³)	目標維持 (9198m ³)	目標	1,840 m ³	133%	○	2,759 m ³	105%	○	1,380 m ³	118%	○	3,219 m ³	66%	×	9,198 m ³	△			
実績	1,225 m ³	エネルギー 管理表 参照	2,624 m ³	エネルギー 管理表 参照	1,132 m ³	エネルギー 管理表 参照	4,310 m ³	エネルギー 管理表 参照	9,291 m ³	99%															
輸送回数の減少および梱 包用資材の削減	クレーム/不具合率 の減少	1) クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み)	3.20%	目標維持 (3.20%)	目標維持 (3.20%)	目標維持 (3.20%)	目標	3.20 %	147%	○	3.20 %	149%	○	3.20 %	148%	○	3.20 %	111%	○	3.20 %	○				
実績	1.70 %	1.62 %	1.68 %	2.85 %	1.96 %	139%																			
有益な テーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法 対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否 かを判定する。	なし	目標は設定せず、 実績の管理を行 う。	目標は設定せず、 実績の管理を行 う。	目標は設定せず、 実績の管理を行 う。	目標	実施	○	実施	○	実施	○	実施	○	実施	○	実施	○		○			
								実績	実施済		実施済		実施済		実施済		実施済								
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・EMS関連教育の実施 ・緊急事態対応訓練・教育 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	目標	実施	○	実施	○	実施	○	実施	○	実施	○	実施	○		○			
								実績	実施済		実施済		実施済		実施済										
上期	環境経営最高責任者コメント欄							(コメント)	(コメント)			(コメント)			(コメント)			(コメント)							
	事務所全体のレイアウト変更・改装工事に伴い一般廃棄物の排出量が増えた時期があったが、一時的であり、ゴミの分別や省エネも徹底されている。							廃棄物、電気及びガスの使用項目 において目標値を下回る結果と なった。廃棄物については、2024 年10月に東京支店でレイアウトを 変更した際、また年末の大掃除の 際に廃棄物が大量に出たことが原 因と考えられる。	概ね全ての項目で目標を達成出来 たが、依然として廃棄物が多く、 またコピー用紙の使用も増えたた め今一度一人一人の意識を高める 必要があると考える。	ほとんどの項目で目標を達成し、 全体的に良好な結果となりました。 特にコピー用紙購入量は目標 を大きく下回り、引き続きペー パーレス化の取り組みが定着して いることがうかがえます。	廃棄物量については、社内イベン トの機会が多く、使用する備品類 の量が一時的に増加したことが要 因と考えられます。今後は再資源 化・リユースの促進および廃棄物 削減に向けた社員への周知を強化 します。ガス使用量については、 現状に合うよう、基準値を	2022年に設定した基準値はコロ ナ期の特異な実績を基にしてい たため、現在の状況と合わなくな り実態とかけ離れたこと及び 2024年10月の東京支店レイアウト 変更での排出ごみの量が要 因。現状に合うよう、基準値を													
年度	環境経営最高責任者コメント欄							照査： 環境管理責任者	照査： 環境管理責任者			照査： 環境管理責任者			照査： 環境管理責任者			照査： 環境管理責任者							
	一時的な要因を除けば概ね目標を達できており、テレビ会議の活用によるペーパーレス化も進み、コピー用紙購入量の削減に繋がった。																								

2025年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ：目標の達成度
 ○：100% ≤ χ
 △：70% ≤ χ < 100%
 ×：χ < 70%

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年9月を基準(BM)とした達成基準(どこまで)				目標 実績	日 程 (いつまでに)																	
				基準(BM)	目 標		目 的		第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			評 価	年間	評価
					2022年 9月期	2024年度 9月期			2025年度 9月期	2026年度 9月期	10月		11月	12月	1月		2月	3月	4月		5月	6月	7月			
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる ・ペットボトルの分別を徹底する	775Kg	目標維持 (775kg)	目標維持 (775kg)	目標維持 (775kg)	目標	194 kg	118%	○	194 kg	118%	○	194 kg	120%	○	194 kg	123%	○	776 kg	○				
								実績	160 kg	キーマ 管理表 参照	158 kg	キーマ 管理表 参照	155 kg	キーマ 管理表 参照	150 kg	キーマ 管理表 参照	623 kg	120%								
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大 (各種申請、出張報告などの電子化)	1291kg/年	目標維持 (1291kg)	目標維持 (1291kg)	目標維持 (1291kg)	目標	紙類の削減 323Kg 使用済み封筒 の再利用	○	紙類の削減 323Kg 使用済み封筒 の再利用	○	紙類の削減 323Kg 使用済み封筒 の再利用	○	紙類の削減 323Kg 使用済み封筒 の再利用	○	1292Kg	○								
								実績	321Kg	101%	300Kg	107%	300Kg	107%	300Kg	107%	1221Kg	105%								
	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	目標	節水表示の徹底	○	節水表示の徹底	○	節水表示の徹底	○	節水表示の徹底	○		○								
								実績																		
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・照明の一部で間引きを継続する。 (窓際のダウンライトを間引き) ・使用していないパソコン、ディスプレイ等の電源OFF励行	36342kwh/年	目標維持 (36342kwh)	目標維持 (36342kwh)	目標維持 (36342kwh)	目標	9,086 kwh	125%	○	9,086 kwh	133%	○	9,086 kwh	132%	○	9,086 kwh	128%	○	36,344 kwh	○				
								実績	6,807 kwh	キーマ 管理表 参照	6,124 kwh	キーマ 管理表 参照	6,141 kwh	キーマ 管理表 参照	6,543 kwh	キーマ 管理表 参照	25,615 kwh	130%								
	ガス使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所冷暖房の使用	・冷暖房の適正温度厳守 (冷房：28℃、暖房：22℃) 期間 冷房6月～9月 暖房12月～3月 ・使用していない部屋の冷暖房節約	5753m³/年	目標維持 (5753m³)	目標維持 (5753m³)	目標維持 (5753m³)	目標	575 m³	87%	△	1,151 m³	92%	△	1,266 m³	154%	○	2,761 m³	138%	○	5,753 m³	○				
実績								649 m³	キーマ 管理表 参照	1,238 m³	キーマ 管理表 参照	579 m³	キーマ 管理表 参照	1,724 m³	キーマ 管理表 参照	4,190 m³	127%									
輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理 (クレーム台帳の電子化済み) ・社用車の新型更新を行う	6.31%	目標維持 (6.31%)	目標維持 (6.31%)	目標維持 (6.31%)	目標	6.31 %	91%	△	6.31 %	77%	△	6.31 %	109%	○	6.31 %	115%	○	6.31 %	△					
							実績	6.88 %	7.77 %	5.72 %	5.39 %	6.44 %	98%													
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標	実施	○	実施	○	実施	○	実施	○		○								
								実績	実施済	実施済	実施済	実施済														
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	目標	実施	○	実施	○	実施	○	実施	○		○								
								実績	実施済	実施済	実施済	実施済														
上期	環境経営最高責任者コメント欄							〈コメント〉 10月から以降も暑い日が多く、エアコンの使用量が予想より増えたためにガスの目標値を超えた。現状に合わせた目標設定が必要と思われる。			〈コメント〉 冬になり暖房の使用量が増え、ガスの目標設定が増えた。年間を通しての目標設定を見直す必要がある。			〈コメント〉 全項目において目標を達成することができ、よい第3四半期になった。引き続き続けていきたい。			〈コメント〉 二期続けて、全項目目標達成が出来た。暑い夏ではあったが、新しいエアコンの導入もあり上手に温度調整が出来た結果もあると思われる。			〈コメント〉 不具合率に関しては期の初めに目標が未達であったが、その後は改善し、他の項目においても良好な結果となった。来期以降も引き続き続けていきたい。						
	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者									
年度	上半期は微増だったガス使用量も下期で減少し、他の項目でも年度で目標を達成できた。次年度はクレーム/不具合の抑制に努めること。							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者									

2025年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ: 目標の達成度
 ○: 100% ≤ χ
 △: 70% ≤ χ < 100%
 ×: χ < 70%

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年9月の平均を基準(BM)とした達成基準(どこまで)				目標 実績	日 程 (いつまでに)																	
				基準(BM)	目 標		目的		第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			評 価	年間	評価
					2022年度 9月期	2024年度 9月期			2025年度 9月期	2026年度 9月期	10月		11月	12月	1月		2月	3月	4月		5月	6月	7月			
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる	901kg/年	目標維持 (901Kg)	目標維持 (901Kg)	目標維持 (901Kg)	目標	225 Kg	67%	×	225 Kg	68%	×	225 Kg	70%	△	225 Kg	71%	△	900 kg	×				
								実績	299 Kg	キ一管理表参照		298 Kg	キ一管理表参照		292 Kg	キ一管理表参照		291 Kg	キ一管理表参照				1,180 kg	69%		
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告などの電子化) ・プロジェクト使用やWeb会議の更なる活用によりペーパーレス化を全社推進	520kg/年	目標維持 (520Kg)	目標維持 (520Kg)	目標維持 (520Kg)	目標	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用	○	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用	△	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用	△	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用	○	520Kg	△								
								実績	120Kg 108%		131Kg 100%		160Kg 77%		120Kg 108%		530.5Kg		98%							
省資源	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	目標	節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底											
								実績																		
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・コストだけではなくエコにつながる機器の導入 ・空調の適温化(冷房28度程度、暖房22度程度) ・社用車の代替	51207kwh/年	目標維持 (51207Kwh)	目標維持 (51207Kwh)	目標維持 (51207Kwh)	目標	12,802 kwh	96%	△	10,241 kwh	86%	△	12,802 kwh	91%	△	15,362 kwh	84%	△	51,207 kwh	△				
								実績	13,375 kwh	キ一管理表参照		11,720 kwh	キ一管理表参照		14,004 kwh	キ一管理表参照		17,780 kwh	キ一管理表参照		56,879 kwh		89%			
省エネ	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み)	3.22%	目標維持 (3.22%)	目標維持 (3.22%)	目標維持 (3.22%)	目標	3.22 %	200%	○	3.22 %	200%	○	3.22 %	195%	○	3.22 %	90%	△	3.22 %	○				
								実績	1.45 %	1.40 %		0.17 %	3.54 %		0.93 %	171%										
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標	実施		実施		実施		実施											
								実績	実施済		実施済		実施済		実施済											
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	目標	実施		実施		実施		実施											
								実績	実施済		実施済		実施済		実施済											
上期	環境経営最高責任者コメント欄							〈コメント〉 電気の目標達成率について、昨年第一期の99%より使用料が増えた。昨今打合せが多く会議室予約の満室も一因に考えられる。			〈コメント〉 二期連続で廃棄物が未達成の原因は、採用にも力を入れており増員となったため。			〈コメント〉 電気使用量の達成率が改善された。季節柄過ごしやすいためエアコンの使用が少なかったと見られる。4期はエコの室温を全社員で心がける			〈コメント〉 エアコンの使用量増加や引き続き人員増加があるため達成率が低い。裏紙はストックがない時があるため無駄な印刷が減り、裏紙利用も出来ているように感じた。			〈コメント〉 クレーム対応以外の項目は達成出来なかった。原因として、事務所の増設、人員増員、会議室の使用率の増加等がみられる。来期は目標設定の数値を見直しと達成率を上げる。						
	年度	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者								
事務所の拡張や人員の増員を踏まえて目標の設定値を見直し、次年度には達成できるように努めること。																										

χ: 目標の達成度
○: 100% ≤ χ
△: 70% ≤ χ < 100%
×: χ < 70%

2026年9月期 環境経営目標及び環境経営計画書

[様式-4]

項目	環境経営目標 (環境経営方針)	環境負荷 (何を)	具体的方法 (どのように)	2025年9月期までの3年実績を 基準(BM)とした達成基準(どこまで)			目標 / 実績	日 程 (いつまでに)												年間	評価					
				基準(BM)	目 標			目 的	第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期					評 価	第4四半期			評 価
					2026年 9月期	2027年 9月期			2028年 9月 期	10月	11月		12月	1月	2月		3月	4月	5月				6月	7月	8月	
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物を分別し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる ・ペットボトルの分別を徹底する	34380L	目標維持 (34380L)	目標維持 (34380L)	目標維持 (34380L)	目標	10,314 L	100%		6,876 L	100%		6,876 L	100%		10,314 L	100%		34,380 L	100%				
					実績	L	エネルギー 管理表 参照	L	エネルギー 管理表 参照	L	エネルギー 管理表 参照	L	エネルギー 管理表 参照	L	エネルギー 管理表 参照	L	エネルギー 管理表 参照	L	エネルギー 管理表 参照	L	エネルギー 管理表 参照	L	L			
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (パーズン紙)	1) 両面コピー・縮小コピー使用の徹底 2) Web会議の更なる活用によりペーパーレス化を推進 3) 電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告、経費精算などの電子化)	800kg/年	目標維持 (800kg)	目標維持 (800kg)	目標維持 (800kg)	目標	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用		紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用		紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用		紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用		紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用		紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用		800 kg	100%				
					実績	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	kg			
省エネ	水使用量の削減	水使用量	1) トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 2) トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	目標	節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底							
					実績																					
省エネ	電気使用量の削減 CO ₂ 排出量の削減	事務所電気の使用	1) 室内不在時、昼休み時の消灯励 2) 使用しないパソコン等の電源OFF徹底 3) 省エネパソコンへの代替を引続き進める。 4) 照明の一部で間引きを継続する。	66736kwh/年	目標維持 (66736kg)	目標維持 (66736kg)	目標維持 (66736kg)	目標	13,347 kwh	200%		13,347 kwh	200%		20,021 kwh	200%		20,021 kwh	200%		66,736 kwh	100%				
					実績	kwh	エネルギー 管理表 参照	kwh	エネルギー 管理表 参照	kwh	エネルギー 管理表 参照	kwh	エネルギー 管理表 参照	kwh	エネルギー 管理表 参照	kwh	エネルギー 管理表 参照	kwh	エネルギー 管理表 参照	kwh	エネルギー 管理表 参照	kwh				
省エネ	ガス使用量の削減 CO ₂ 排出量の削減	事務所冷暖房の使用	1) 冷暖房の適正温度厳守(冷房:28℃、暖房:22℃) 期間 冷房6月~9月、暖房12月~3月 2) カジュアルフライデーの通年化 3) 社用車の適正な利用を促進 4) 冬季は加湿器を併用し、体感温度を上げて過剰暖房を防止。	9290m ³ /年	目標維持 (9290m ³)	目標維持 (9290m ³)	目標維持 (9290m ³)	目標	1,858 m ³	200%		1,858 m ³	200%		1,858 m ³	200%		3,716 m ³	200%		9,290 m ³	100%				
					実績	m ³	エネルギー 管理表 参照	m ³	エネルギー 管理表 参照	m ³	エネルギー 管理表 参照	m ³	エネルギー 管理表 参照	m ³	エネルギー 管理表 参照	m ³	エネルギー 管理表 参照	m ³	エネルギー 管理表 参照	m ³	エネルギー 管理表 参照	m ³				
省エネ	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	1) クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み)	1.96%	目標維持 (1.96%)	目標維持 (1.96%)	目標維持 (1.96%)	目標	1.96 %	100%		1.96 %	100%		1.96 %	100%		1.96 %	100%		1.96 %	100%				
					実績	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%								
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	1) 社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標	実施		実施		実施		実施		実施		実施							
					実績																					
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	1) 自覚教育の実施 2) EMS関連教育の実施 3) 緊急事態対応訓練・教育 4) JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	目標	実施		実施		実施		実施		実施		実施							
					実績																					
上期	環境経営最高責任者コメント欄							(コメント)	(コメント)	(コメント)	(コメント)	(コメント)	(コメント)	(コメント)												
	環境経営最高責任者コメント欄																									
年度	環境経営最高責任者コメント欄							照査： 環境管理責任者	照査： 環境管理責任者	照査： 環境管理責任者	照査： 環境管理責任者	照査： 環境管理責任者	照査： 環境管理責任者													
	環境経営最高責任者コメント欄																									

2026年9月期 環境経営目標及び環境経営計画書

χ：目標の達成度
 ○：100% ≤ χ
 △：70% ≤ χ < 100%
 ×：χ < 70%

項目	環境経営目標 (環境経営方針)	環境負荷 (何を)	具体的方法 (どのように)	2025年9月までの3年実績を基準(BM)とした達成基準(どこまで)			目標 / 実績	日 程 (いつまでに)																		
				基準(BM)	目 標			目 的	第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			評 価	年間	評価
					2026年 9月期	2027年 9月期			2028年 9月 期	10月	11月		12月	1月	2月		3月	4月	5月		6月	7月	8月			
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物を分別し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる ・ペットボトルの分別を徹底する	775Kg	目標維持 (775kg)	目標維持 (775kg)	目標維持 (775kg)	目標	194 kg	200%		194 kg	200%		194 kg	200%		194 kg	200%		776 kg	100%				
					実績	kg	エネルギー管理表参照	kg	エネルギー管理表参照	kg	エネルギー管理表参照	kg	エネルギー管理表参照	kg	エネルギー管理表参照	年間	kg									
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告、経費精算などの電子化) ・Web会議の更なる活用によりペーパーレス化を全社推進	1291kg/年	目標維持 (1291kg)	目標維持 (1291kg)	目標維持 (1291kg)	目標	323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		1,292 kg	100%				
					実績																			年間	kg	
省エネ	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	目標	節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底							
					実績																					
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・照明の一部で間引きを継続する。(窓際のダウンライトを間引き) ・使用していないパソコン、ディスプレイ等の電源OFF励行	28355kwh/年	目標維持 (28355kwh)	目標維持 (28355kwh)	目標維持 (28355kwh)	目標	7,089 kwh	200%		6,805 kwh	200%		6,805 kwh	200%		7,656 kwh	200%		28,355 kwh	100%				
					実績	kwh	エネルギー管理表参照	kwh	エネルギー管理表参照	kwh	エネルギー管理表参照	kwh	エネルギー管理表参照	kwh	エネルギー管理表参照	年間	kwh									
					目標	595 m ³	200%		977 m ³	200%		637 m ³	200%		2,040 m ³	200%		4,249 m ³	100%							
省エネ	ガス使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所冷暖房の使用	・冷暖房の適正温度厳守(冷房：28℃、暖房：22℃) 期間 冷房6月～9月 暖房12月～3月 ・使用していない部屋の冷暖房節約	4249m ³ /年	目標維持 (4249m ³)	目標維持 (4249m ³)	目標維持 (4249m ³)	目標	595 m ³	200%		977 m ³	200%		637 m ³	200%		2,040 m ³	200%		4,249 m ³	100%				
					実績	m ³	エネルギー管理表参照	m ³	エネルギー管理表参照	m ³	エネルギー管理表参照	m ³	エネルギー管理表参照	m ³	エネルギー管理表参照	年間	m ³									
省エネ	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み) ・社用車の新型更新を行う	6.31%	目標維持 (6.31%)	目標維持 (6.31%)	目標維持 (6.31%)	目標	6.31 %	200%		6.31 %	200%		6.31 %	200%		6.31 %	200%		6.31 %	100%				
					実績	%		%		%		%		%		%										
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標	実施		実施		実施		実施		実施		実施							
					実績																					
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	目標	実施		実施		実施		実施		実施		実施							
					実績																					
上期	環境経営最高責任者コメント欄							〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉						
	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者						
年度	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者						
	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者						

2026年9月期 環境経営目標及び環境経営計画書

χ: 目標の達成度
 ○: 100% ≤ χ
 △: 70% ≤ χ < 100%
 ×: χ < 70%

項目	環境経営目標 (環境経営方針)	環境負荷 (何を)	具体的方法 (どのように)	2025年9月期までの3年実績を基準(BM)とした達成基準 (どこまで)			目標 / 実績	日 程 (いつまでに)																		
				基準(BM)	目 標			目的 2028年 9月 期	第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			評 価	年間	評価
					2026年 9月期	2027年 9月期			10月	11月	12月		1月	2月	3月		4月	5月	6月		7月	8月	9月			
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物を分別し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる	1180kg/年	目標維持 (1180Kg)	目標維持 (1180Kg)	目標維持 (1180Kg)	目標	295 Kg	100%		295 Kg	100%		295 Kg	100%		295 Kg	100%		1,180 kg	100%				
					実績	Kg			Kg			Kg			Kg			Kg			kg					
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大 (各種申請、出張報告、経費精算などの電子化) ・Web会議の更なる活用によりペーパーレス化を全社推進	520kg/年	目標維持 (520Kg)	目標維持 (520Kg)	目標維持 (520Kg)	目標	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒 の再利用		紙類の削減 130Kg 使用済み封筒 の再利用		紙類の削減 130Kg 使用済み封筒 の再利用		紙類の削減 130Kg 使用済み封筒 の再利用		520Kg	100%		kg						
					実績	kg			kg			kg			kg			kg								
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・コストだけではなくエコにつながる機器の導入 ・空調の適温化(冷房28度程度、暖房22度程度) ・社用車の代替	61068kwh/年	目標維持 (61068Kwh)	目標維持 (61068Kwh)	目標維持 (61068Kwh)	目標	15,267 kwh	200%		12,214 kwh	200%		15,267 kwh	200%		18,320 kwh	200%		61,068 kwh	100%				
					実績	kwh			kwh			kwh			kwh			kwh			0 kwh					
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法 対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標	実施		実施		実施		実施											
					実績																					
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	目標	実施		実施		実施		実施											
					実績																					
上期	環境経営最高責任者コメント欄							〈コメント〉	〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉								
	環境経営最高責任者コメント欄								照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者								
年度	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者	照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者								
	環境経営最高責任者コメント欄								照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者								

【6】環境関連法規の一覧

	法条例の名称							
1	廃棄物処理及び清掃に関する法律	第14条 (産業廃棄物処理業)	◇許可を受けた廃棄物処理業者との契約をすること。 ◇産業廃棄物の処理にあたっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、収集運搬業者及び処分業者それぞれと委託契約を締結している。	ビル管理会社及び同委託業者との契約書・業者の許可証の確認	全店	契約書・許可書の確認	○	2025年5月31日
2	消防法 東京都震災対策条例 火災防止条例	第五十条の三	新橋2丁目MTビル	火災訓練参加 防火管理者の選定	東京支店	火災訓練実施記録 防火管理者(佐々木支店長)選定、確認	○	2025年5月31日
3	消防法 神戸市火災予防条例	第8条1項 神戸市火災予防条例 第50条の6	明石町3丁目明海ビル	火災訓練 防火管理者の選定	神戸本社	火災訓練実施記録 防火管理者(橋本取締役)の選定	○	2025年5月31日
4	名古屋市火災予防条例	火災予防条例第4章	栄1-2-7 名古屋東宝ビル	第4章避難及び防火の管理等	中部支店	火災訓練実施記録 防火管理者(清水支店長)選定、確認	○	2025年5月31日
5	毒物及び劇物取締法(毒劇法) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)	第6条(登録事項)	毒物劇物の輸入や販売には免許(登録)が必要 新規化学物質の事前審査、化学物質の性状等に応じた規制及び措置(事前届出)、上市後の化学物質の継続的な管理措置(事後届出)	毒物劇物輸入 業品目の登録 新規化学物質なら事前審査が、新規でなければ事前または事後の届出が必要。	全店	毒物劇物輸入業品目登録済証	○	2025年5月31日

環境への負荷の状況（取りまとめ表）

2026/2/4

	単位	2016年 9月期	2017年 9月期	2018年 9月期	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期	2023年 9月期	2024年 9月期	2025年 9月期	
① 総エネルギー投入量	購入電力（東京・宇都宮支店）	MJ	712,282	710,581	690,813	623,723	635,193	592,093	696,616	673,070	692,068	656,024
	購入電力（中部・各務原営業所）	MJ	321,677	335,075	330,042	325,039	330,268	363,867	357,242	330,475	326,857	251,795
	購入電力（神戸・大阪営業所）	MJ	438,074	465,903	455,925	464,448	460,319	475,192	552,859	524,231	541,702	559,121
	化石燃料（東京・宇都宮支店）	MJ	648,975	624,266	706,188	616,302	583,284	341,026	459,191	351,480	360,056	410,025
	化石燃料（中部・各務原営業所）	MJ	463,256	417,986	501,888	534,877	698,105	753,537	445,203	380,974	425,182	372,660
	化石燃料（神戸・大阪営業所）	MJ	114,040	91,754	73,864	72,215	60,049	62,228	73,900	71,334	62,552	78,939
	新エネルギー その他	MJ										
② 総物質投入量	資源投入量	t										
	循環資源投入量	t										
③ 水資源投入量	上水	m ³										
	工業用水	m ³										
	地下水	m ³										
④ 温室効果ガス排出量	二酸化炭素（東京・宇都宮支店）	Kg-CO ₂	61,818	60,529	63,639	56,233	54,910	40,544	50,137	49,157	48,924	51,800
	二酸化炭素（中部・各務原営業所）	Kg-CO ₂	39,747	38,425	20,916	43,906	51,565	66,431	43,489	36,416	21,530	32,693
	二酸化炭素（神戸・大阪営業所）	kg-CO ₂	24,498	24,072	22,488	25,505	21,730	22,448	29,420	23,449	23,482	25,201
⑤ 化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t										
	公共用水域への排出	t										
	土壌への排出	t										
⑥ 総製品生産量又は 総製品販売量	製品生産量	t										
	環境負荷低減に資する製品	t										
	容器包装使用量	t										
⑦ 廃棄物等総排出量	再使用	KG										
	再生利用	KG										
	熱回収	KG										
	単純焼却	KG										
	その他	KG										
⑧ 廃棄物最終処分量	最終処分量（東京・宇都宮支店）	kg			800.00							
	二酸化炭素（中部・各務原営業所）	kg			803.00							
	最終処分量（神戸・大阪営業所）	kg			906.44							
⑧ 産業廃棄物	最終処分量（東京・宇都宮支店）	kg			12.6							
	二酸化炭素（中部・各務原営業所）	kg			12,183.0							
	最終処分量（神戸・大阪営業所）	kg			178.5							
⑨ 総排水量	公共用水域	m ³										
	下水道	m ³										
	BOD	g										

※温室効果ガス排出量の算定に使用した各電気事業者の排出係数（2022年7月14日公表）： 東京電力 0.443Kg-CO₂/kWh / 中部電力 0.377 Kg-CO₂/kWh / 関西電力 0.350 Kg-CO₂/kWh